



こうふ町 議会だより

町 勢

世帯数／1,140世帯
人 口／3,536人
(平成22年5月1日現在)

町の木



ぶな

町の花



あやめ



子どもは宝

小さくとも元気で明るい輝きのあるまちづくりに (平成22年度予算) ……	2 P
予算の審議 ……	6 P
いっぱん質問 町政を問う ……	12 P
私もひと言 ……	16 P

小さくとも元気で明るい 輝きのあるまちづくりに

一般会計

31億3400万円

(前年比1億7600万円増額)

平成22年度3月定例会は、3月8日から19日までの12日間の日程で開催された。

本年度の一般会計及び特別会計予算・条例の制定・改正等、49議案が上程され、慎重審議の結果、原案通り可決された。一般質問は、3名の議員が質問し、情報公開・自治基本条例・情報通信・選挙制度・教育・農林行政等活発な論議が交わされた。

平成22年度予算は、町税の減少を見込む一方、公債費の償還ピークは過ぎたが、さらに行財政運営の効率化・適正化を図り安心・安全に暮らせる町づくりを目指しています。

又、特別職・職員の給与・議員報酬も対策の一環として削減し、「小さくとも元気で明るい輝きのあるまちづくり」に向けて予算編成された。

平成22年度	一般会計総額	31億3400万円
	(前年対比)	105.9%
	特別会計	16億7886万円
	町民一人当たり	135万4千円
	一世帯当たり	421万8千円の予算です

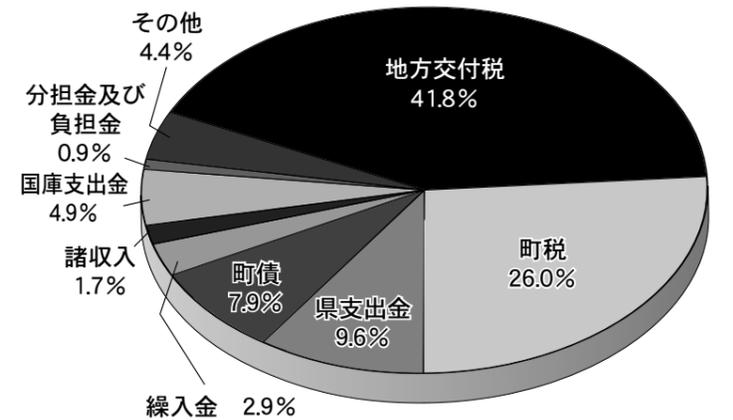
主な歳入は

○ 地方交付税	13億1000万円
○ 町税	8億1403万円
○ 地方消費税交付金	2730万円
○ 緊急地域雇用特別交付金	1927万円

主な歳出は

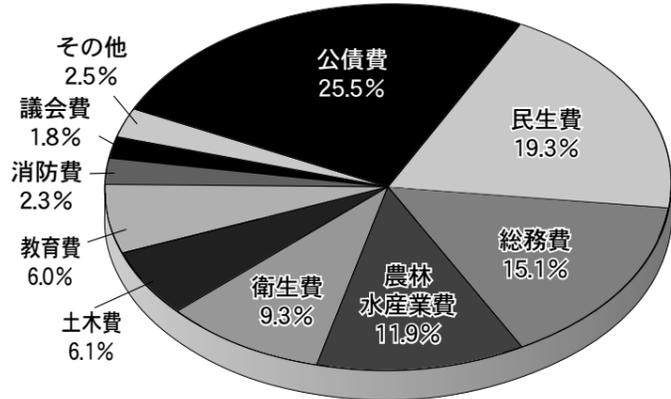
○ 町道洲河崎下安井線改良工事	1億0015万円
○ 障がい者福祉事業	9343万円
○ 町営バス委託料	5038万円
○ 子ども手当(児童手当)	4144万円
○ 緊急雇用対策事業費	3663万円
○ 中山間直接支払事業	1億0302万円

歳入



町税	8億1403万円
主なもの	
(町民税)	9234万円
(固定資産税)	7億0088万円
県支出金	3億0037万円
町債	2億4770万円
地方交付税	13億1000万円
町税	8億1403万円

歳出



公債費	7億9988万円
民生費	6億0341万円
総務費	4億7456万円
農林水産業費	3億7367万円
衛生費	2億9287万円

特別会計（16会計）

総額 16億7886万円

（前年比 8703万円減額）

国民健康保険（事業勘定）

平成22年1月末現在、被保険者は750人、その内364人が前期の方で全体の48・5%を占めている。医療給付を受ける年代層が年々増加する傾向にあります。

また、本年度の厚生労働省基準の地域差指数は1・254となり基準の1・14を超えた。しかし、この制度も本年度を以って廃止となり、今後は新制度が設けられると思われます。医療費の増加を踏まえ、病気の早期発見、早期治療を原則として、予防対策に重点を置き、医療費の適正化に努める。

国民健康保険（施設勘定）

医科、歯科とも通常の診療のほか、糖尿病・高血圧・心臓病外来をはじめ、昨年度から「もの忘れ外来」など設置し、保健・医療・福祉の連携のもと住民のサービスに努める。林歯科医師の退職に伴い、後任の医師を鳥取大学に要請している。

農業集落排水事業

林業集落排水事業

特定環境保全公共下水道事業

農集8施設、林集2施設、特環1施設、合併処理浄化槽設置整備により、平成21年4月現在での整備率は、世帯数で91・3%、人口で91・0%、未接続世帯の加入の促進と既存施設の維持管理に万全を期すると共に管理経費の削減に努める。



美用地区農業集落排水処理場

特別会計

(単位 千円)

会計区分	22年度予算	一般会計からの繰入金
住宅新築資金等貸付事業	1,830	671
国民健康保険（事業勘定）	400,566	22,000
国民健康保険（施設勘定）	268,895	61,105
老人保健	1,213	100
介護保険事業（保険事業勘定）	443,481	65,387
介護保険事業（サービス事業）	2,743	0
介護老人保健施設	38,228	0
後期高齢者医療	51,380	16,775
索道事業	67,440	0
簡易水道事業	102,567	47,861
農業集落排水事業	224,212	84,172
林業集落排水事業	5,591	4,658
特定環境保全公共下水道事業	60,471	23,577
江尾財産区	3,732	0
神奈川財産区	1,480	0
米沢財産区	5,040	0

下水道水洗化率及び下水道関係接続率

H21. 3. 31現在

整備率		使用開始率		水洗化率	
世帯数	人口率	接続世帯	人口率	水洗率世帯	人口率
91.3%	91.0%	77.5%	81.0%	74.9%	79.6%

世帯数 1,140世帯

人口 3,591人（平成21年3月31日）

○宮市地区（宮市、宮市原）は21年度で事業完了

○美用地区は21年度事業着手23年度完了

特別会計

歯科医師の確保は

Q 平成21年度末で退職される、林歯科医師の後任は。

A 鳥取大学医学部からの派遣をお願いし、支障がないように、後任医を要請しています。

保険税滞納の対応は

Q 保険税の滞納者診療はどのようになっていますか。

A 少額の保険料で、短期保険証の発行をして、受診しています。

新型インフルエンザのワクチン接種は

Q 世界的に猛威をふるった新型インフルエンザは、町内においてはいかがですか。

A 重症化することなく、新型のワクチン予防接種により対応が良かったが、さらに予防対策に努めます。

福祉事務所の準備は

Q 県下3地区で新設される福祉事務所の準備は。

A 昨年10月から2名の職員が日野福祉保健局で研修をうけて、生活保護をはじめ、住民福祉の向上に努めます。

公共下水と川筋地区下水の接続は

Q 江府町で最初の川筋地区の集落排水と江尾地区の公共下水を接続する事で経費節減になるのでは。

A 川筋地区を公共下水に接続可能なら、経費節減になる。今後検討します。

美用地区集落排水は

Q 冬期間に向けて工事発注がされたが、進捗状況と、今後の発注の在り方について。

A 工程上難しいが、工期内の完成に努めます。

そして、今後地元業者が発注出来るものは、部分発注の検討や、下請け等に地元業者が出来るよう検討します。

専門外来設置状況は

Q 通常診療以外、糖尿病外来・高血圧・心臓病外来に併せ、昨年からの「もの忘れ外来」など、専門外来の状況は。

A 死亡原因の主なものには脳卒中・心筋梗塞・癌・肺炎です。町民の健康予防に専門外来を充実させ、住民サービスに努めます。さらには大学病院と連携し、地域の方々の元気な町づくりを努めます。

簡易水道は

Q 生活に一番大切な簡易水道の状況について。

A 現在15施設の維持管理に万全を期しています。

そして、平成20年に改定された料金についても、今後検討していきます。未だ未加入の施設についても、安心し飲んで頂ける水として、維持管理に努めます。

索道事業は

Q 町営に移管し、今年度の状況は。

A 平成21年度は年末から積雪に恵まれスキーヤーに大変喜んで頂きました。2月中旬の暖冬により、早くから閉鎖しましたが、約1千万円の利益が見込まれます。設備について、第1リフトの耐用年数が来ており、今後について、検討していきます。



福祉事務所



佐川処理場

予算特別委員会 参考意見

一般会計

江府町の平成22年度一般会計予算は、公債費が昨年より7千万円減の約8億円となり、ピークを超えたものの依然として高い水準であり、厳しい財政状況にあります。引き続き特別職を含む職員の給与削減を基本として、行財政改革を進める必要があります。

ただ、平成21年12月に示された財政推計では、平成20年の推計より大きく改善しています。例えば基金残高では約6千万円まで減少する見込みが4億4千万円残る見込みとなり、実質公債費比率も25%を上回ることはないと見られています。今年度も公債費の繰上げ償還が予定されており、より改善されると思われる。このような中で、国

の経済対策や雇用対策による有利な制度を取り入れ、住民に密着した事業が予定されています。

今年度の大型事業としては、昨年度に予算化された光ケーブル網の整備（7億6千万円）高規格道路建設に伴う周辺整備として下安井から荒田に向け橋梁の新設（今年度分約1億円）、新規事業として子ども手当、小中学生の医療費助成の拡充、環境美化推進事業、ここにこの事業などが予定されています。

政府の動向を十分把握し、各事業の実施に当たられたい。

総務課

①平成22年度の報酬は（すべて手当含む）町長18%、副町長・教育長は10%、一般職員5%カットとそれぞれ昨年より2%増額したが、期末手当が減額されており昨年とほぼ同じ削減額である。厳しい財政状況を乗り切るためになされている努力に敬意を払うと共に、

議会としても同様に協力していきたい。

②自衛消防隊は高齢化により、機動力の低下が心配されている。各自衛消防隊の実態を調査し必要な指導を願いたい。又、防災の日を設け町民の訓練を行うなど検討願いたい。

企画政策課

①光ケーブル網の整備が今年度事業実施されます。7億6千万円の大型事業であり、その具体的な内容について町民にわかりにくいものです。事業費のほとんどが国の補助金でまかなわれる点や、町民にとって何が便利になるかなど町民にわかりやすく説明をお願いしたい。

②地上デジタル放送がいよいよあと1年少々となりました。日野中継局が今年9月に開始予定となり、基盤整備は着々と進められています。各テレビ組合と話し合いを進め、低所得者に対する補助なども検討し、全世帯が安心して視聴できるようにされたい。



古峠山（日野中継局）

町民生活課

①町営バスは、昨年3月から運行を開始し11月に見直しされ通学、通院等の交通手段として町民に利用されています。限られたバスの台数と経費の中で、フリーバス等検討を重ね、一層便利なバスになるよう適宜見直しをされたい。町民が元気で楽しく暮らせるように新たに「にっこご事業」が計画されています。事業実施に当たっては、町民に喜ばれる事業となるよう努力されたい。

農林産業課

①グリーンステージ、サントリーと企業誘致が実現しました。恵まれた自然を生かし町の活性化のため、より積極的に江府町のピールールをして頂きたい。
②昨年、韓国とロシアを結ぶ定期フェリーが就航、また米子空港は滑走路が延長となりました。境港は鬼太郎効果により多くの観光客を集めています。江府町もサントリーによって全国にその自然をアピールしています。



農林産業課

この機会を生かし町の活性化のために、ふるさと大使等を任命するなど、具体的方策に取り組んで頂きたい。

福祉保健課

①介護保険事業の中で在宅介護を支える社会福祉協議会は、経営的に厳しい状況に置かれています。住民が安心して暮らせるために社会福祉協議会の運営が支障のないよう町の支援をお願いしたい。
②今年より中学生までの医療費の助成を拡充し、わずかな負担となります。少子化が進む中、子育て環境がよくなるよう一層の努力をお願いしたい。

③厳しい経済情勢により、生活保護となる方が増加しています。行政の大きな役割である弱者救済のため情報入手や対策など、町に移管された福祉事務所を中心に取り組んで頂きたい。

建設課

①高規格道路建設に伴い荒田・下安井間に町道橋



江府中学校校舎

の建設が計画されています。高規格道路建設の進展に向け努力されたい。

教育委員会

①江府中学校の校舎は、建設後50年を経過し老朽化が進んでいます。この度、あり方検討委員会が立ち上げられ、第1回委員会が開かれました。議

会では、応えるよう議論したいと考えており、その動向について情報提供をお願いします。

②小中学校の「にっこご事業」について、学校整備費で対応可能な事業となっている。「にっこご事業」の目的に沿うよう事業の見直しを検討されたい。
③図書館に関する費用も、

過疎債の対象となるようなので、研究・検討願いたい。



特別会計

国民健康保険 (事業勘定)

平成22年1月末現在、被保険者は750人あり、そのうち364人が前期高齢者の方で全体の48・5%を占めている。医療給付を受ける年代層が、年々増加傾向にあります。医療費の増加を踏まえ、住民の健康に対して予防対策に万全を期し、医療費の適正化に努められたい。

国民健康保険 (施設勘定)

医科・歯科とも順調に経営が行われている。林歯科医師には、この2年間歯科治療・口腔ケア・えんげ機能評価に尽力頂きましたが、退職される事になり、後任の医師の派遣について、鳥大医学部に要望されたい。通常診療はもとより、糖尿病外来・高血圧・心臓病外来をはじめ、昨年

来」など設置し、住民の健康予防対策として保健・医療・福祉の連携のもと、住民サービスに努められたい。

武地医師を中心に地域医療の充実と医学生の教育に尽力されており、今年度鳥大医学部に地域医療講座が開設され、次世代医療従事者の育成を図られる計画があり、今後大学と連携をとりながら、医師の確保に努められたい。

介護保険事業 (保険事業勘定)

本年度は第4期保険計画の2年目を迎え、施設入所者が増加傾向にあるようです。地域包括支援センターの充実を図ると共に、サービス提供を頂ぐ各事業所との連携を図り、積極的な取り組みに努められたい。



索道事業

年末年始にかけて雪に恵まれましたが、暖冬により2月の終盤に雪が溶け営業を終了しているが、約1千万円の黒字が見込まれる。他のスキー場と比べ、来場人数の減少も比較的少なく、良い結果になった。施設の老朽化に伴う整備が今後見込まれる中、特に、第1リフト等耐用年数が来ており、



奥大山スキー場

状況をきちんと把握し、今後検討されたい。

簡易水道事業

生活に一番大切な水であり、現在15施設の維持管理に万全を期すと共に、人件費を除く事務費と起債償還額の1/2を水道料で充当出来る。平成20年に料金改定したが、今後、施設も老朽化し、見直しも検討課題である。

農業集落排水事業

美用地区集落排水事業の工期内の完成に努められたい。公共事業の削減で地元業者も厳しい状況であり、今後発注できるものは、地元業者に部分発注や下請けが出来るよう配慮されたい。

公共下水道事業

江尾地区の接続率は世帯数の85%、人口で88・7%で他地区の接続率は90%以上であり、今後接続に務められたい。川筋地区の農業集落排水施設と公共下水の江尾地区との排水管の接続が可能になれば、経費節減になるので今後協議、検討され接続の実現に努められたい。

一般質問



情報公開は 森林整備は

日野尾 優

問	情報の収集・処理・提供について
答	より活用できるように検討し、提供する

質問 政治・行政に関する情報を主権者である住民に提供し、住民自治を育成し、情報交換によって自治意識を高める必要があり。日常の政治・行政を知らせる機会を与えるのは、町報、議会だより、議会傍聴等であり。地域、集落等の情報を敏速的確に収集し、処理提供するため、区長会、まちづくり町民会議委員会等の対応が必要。情報収集開示について町長に伺う。

町長答弁

毎日、朝、昼、晩の3回、防災情報無線によりお知らせし、毎月発行の町報こつふ、インターネットのホームページで各種情報提供をしております。しかし、いずれも行政側からの一方通行であり、このため、区長会、まちづくり町民会議委員会を通じて住民皆様のご意見を伺い、行政施策に反映させているところであります。各集落に集落担当職員を配置し、情報収集、提供をおこなっております。

また、各集落で町長と語らう会を開催し、情報提供と住民のご意見や要望など交流の場として実施しております。今後、現在の情報収集、情報提供方法について、より活用できるように検討して、情報を積極的に提供します。

問	森林の整備計画について
答	整備計画を基本に取組む

質問 森林は、国土の保全、水源かん養、自然環境など多面的機能を有しております。

本町では「とっとり共生の森」事業が企業の参加を得て実施されております。このような中、林業を取り巻く情勢は、木材価格の低迷、林業就業者の高齢化などで造林意欲が薄れています。山を財産として次の世代に伝えるために、国、県の支援事業を活用して取組む必要があり。森林施策計画を樹立し、取組めば雇用創出にもつながります。わが町の望ましい将来の森林行政施策について町長の所見を伺う。



宮市間伐林

町長答弁

森林は、木材を供給し、水源を守り、空気を浄化するだけでなく、心のゆとり、やすらぎ、豊かさ自然環境といったように経済面だけにとまらな

い。資源の乏しいわが国にあって、かけがえのない再生産の可能な資源であります。森林、林業をめぐる状況は、木材価格の低迷による国産材供給の減少や、林業経営意欲の低迷、山村の過疎化、高齢化の進行など、大変厳しいものとなっております。町有林・町行造林面積は、合計644haであり、

民有林は3100haとなっており、いずれも戦後の植栽でありますので伐期は平成25年以降となります。

新植は控え、保育に専念しているところであります。元気な森林を育てるためにも、国の新規制度・県の独自制度等活用し、林業従事者、林業関係団体をはじめとする各関係者がそれぞれの役割を認識し、森と人の共生などを重視し、本町の森林整備計画を基本として整備取組みを進めていく所存です。



江府町自治基本条例の制定について 期日前投票所の見直しについて

宇田川 潔

平成22年度に検討してまいりたい。

問	条例制定で地域主権を住民対話集会を検討
答	自治体の自立が求められる今、地域が一体となつて創意工夫に知恵を絞り汗を流さなければならぬ。生き残る手段として住民基本条例制定がある。町民が主役、議会と行政ともに情報を共有し協働のまちづくりを推進する上で基本となる町の憲法の創設である。制定に向けて町長の所見を伺う。

質問 自治体の自立が求められる今、地域が一体となつて創意工夫に知恵を絞り汗を流さなければならぬ。生き残る手段として住民基本条例制定がある。町民が主役、議会と行政ともに情報を共有し協働のまちづくりを推進する上で基本となる町の憲法の創設である。制定に向けて町長の所見を伺う。

問	場所を変更すべき
答	現状では変更は難しい

質問 現在、期日前投票所に指定されている場所を利便性の高い場所に変更されたい。駅前、総合福祉センターか、防災情報センターのいづれかに変更されたい。選挙管理委員会の所見を伺う。

選挙管理委員長答弁

期日前投票所については、選挙管理委員会でも以前より協議はしているが変更出来ていない。提案いただいた場所(施設)は、それぞれの使用目的の施設であり、長期

問	事業目的と住民のメリットは
答	情報過疎から脱却

質問 町内全世帯、事業所等に現在の電話線に変えて光ファイバーケーブルを布設し事業費7億6000万円、完成後は公設民営方式で運営が計画されており江府町の情報発信の中枢をなす大事業である。

町長の所見を伺う。

町長答弁 町の財政状況から地域情報通信整備が遅れていたが、経済対策の中で国から臨時交付金93%の支援が確定した。この事業により江府町も情報過疎から脱却出来ると考えています。町民の皆さんへの説明は、各集落単位で説明会を開いてまいりたい。



期日前投票所

一般質問



江府町における選挙のあり方は国民読書年の取り組みは

田中幹啓

問	選挙投票所の削減は問題ありき
答	アンケートの結果を踏まえて対応する

質問 今回のアンケートは、行財政改革のため投票所を減らす考えであるが、減らす場所を提示せず意見をまとめるのはいかがなものか伺う。

アンケート実施段階で不満の声を聞くが、どう理解を求めていく考えがなくなくなる場所を具体的に明確にし、その地域のアンケートを行う必要がある。反対の声が多くても、強行する考えか。具体的なごとうする考えか選挙管理委員長に伺う。

選挙管理委員長答弁

アンケートは21投票区の有権者のみなさんが、投票所の見直しについての見直しについてどのように考えておられるのか、調査することにした訳で、その結果によって見直しの内容については、再度検討せざるを得ないと考えております。

このたびの投票所見直しにより、投票所が減れば投票率が下がる可能性がないとはいえませんが、選挙管理委員会では、投票率を奪うとか、そうした考えはありません。ただ、行財政改革の指針により、ポスター掲示場の変更し経費の節減をしました。この度のアンケートでは、676世帯から回答、その内賛成396、反対が200であり、58%の方が見直しても良い

と云う結果になっております。内容を十分に受け止め、投票所の見直しを進め、今年の夏の参議院選挙から投票所の統合を行うていきたいと思っておりますので、ご理解いただきませうようお願いいたします。

再質問

今回の投票所削減案の最大のメリットは120万円の費用削減であるが、670万円の費用の40%284万円の職員賃金を考えれば、捻出できるではないか。

江府町はこまかい配慮により県下で一番の投票率を誇ってきたが、伯耆町では削減により、特に溝口の山手は軒並みダウンし町民は怒りの声を出している。これをどう受け止めるか。

政治参加の第一歩を開

いてきたポリシーを守り、高齢者、障がい者にやさしい対応こそ竹内町長の真髓でないか。本当に実行するならば投票所を減らす地域の皆さんと、ひざを交えて話すべきで、他町がやっているから行うというやり方ではないのではないではないか。あの財政難の夕張も投票所はまもっている。

町長答弁

新年度、国民読書年ということで、図書費の増額をしました。併せて小・中学校の図書充実につきまして、努力しております。

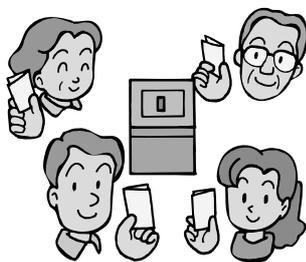
教育長答弁

子供たちが、小さいときから本に慣れ親しんで心豊かに育つことを願い、保護者に対し説明し、絵本、関連パンフレットをプレゼントする事業を進めてまいります。また、積極的に図書館司書、地域ボランティア支援により読書活動をより重点的に取組みます。

古本の提供、紙芝居、お話会、講演会などイベントを開催し、図書の貸出しだけでなく、図書館を活用し、読書の楽しみを広げ、そして読書の魅力を再発見できるように国民読書年、江府町版を進めていきます。

問	国民読書年の対応は
答	色々な事業を行う

質問 今年、国民読書年ということで色々な取り組みがなされるようになっている。本年における図書館の方針、読書年の対応、取り組みについて町



陳情の審査結果

みなさんから提出のあった陳情を審査した結果、次のとおり決定しました。

件名及び要旨	審査結果
安心・安全な公共事業を推進するため、国土交通省の事務所・出張所の存続を求める意見書の採択について	採択
核兵器の廃絶と恒久平和実現に関する意見書について	採択
後期高齢者医療制度の即時廃止に関する意見書について	不採択

第1回臨時会

平成22年1月20日

一般会計補正予算第6号
 予算の見直し精査等により生じた予算を繰り上げ償還し、次年度以降の公債費を軽減する。9972万4000円の追加予算で総額41億1347万5000円とするものです。

主な内容として

起債の繰上償還

9900万円

パスポート事務移譲に伴うもの

第2回臨時会

平成22年2月15日

一般会計補正予算第7号
 国の緊急経済対策として創設された「ぎめ細やかな臨時交付金」を財源とする。6061万3000円の追加予算で総額41億7408万8000円とするものです。

主な内容として

水道施設の中央監視盤移設工事

企業からの報告（江府町議会政治倫理条例により記載）

受付日付	平成22年3月30日	平成22年3月30日	平成22年3月30日	平成22年3月30日
企業名	㈱かわばた	㈱かわばた	㈱かわばた	㈱かわばた
議員と企業との関係	代表取締役社長	代表取締役社長	代表取締役社長	代表取締役社長
契約の内容	町道小江尾学校線道路改良工事（2箇所）	町道江尾本町停車場線横断溝修繕工事	町道小原線道路改良工事	小江尾通路拡幅工事
請負の方法	指名競争入札	指名競争入札	指名競争入札	指名競争入札
請負金額	3,479,700円	1,375,500円	9,232,650円	1,390,200円

池田成弘議員 ご逝去



去る3月27日突然ご逝去されました。前議長でもあり、江府町議会にご尽力頂きこれからと言う時期の訃報で、議員一同惜別につきません。ご功績と御遺徳をしのび、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

故 池田成弘議員経歴

平成13年7月5日初当選から平成22年3月27日まで3期途中での御逝去でした。その間、副議長、議長、消防委員会委員長を歴任されました。

解説

議員の欠員について

この度、池田成弘議員の死去にともない江府町議会は一人の欠員を生じましたが、公職選挙法の規定により、現状では繰上げ補充・補欠選挙ともに行われません。

繰上げ補充・補欠選挙が行われるのは次のような場合です。

①繰り上げ補充

公職選挙法

第112条第5項

・議員の欠員が当該議員の選挙の期日から3か月以内に生じた時。

②補欠選挙

公職選挙法

第113条第1項第6号

第113条第3項第3号

・議員欠員が定数の6分の1を超えるにいたった時（江府町は2人以上）。

なお、特例として、議員の欠員が一人以上あり、町長選挙（他の選挙では行えません。）が行われる時。

ひと言



半の上 徳岡 利樹

今思うこと

今年三月末で退職をし約一カ月半が経過しました。勤めている時は、いつも仕事のこまごまとばかりで頭が一杯で、常に緊張感をもって三〇分前には職場に出ているというような毎日を過ごして来ましたが、四月から生活はがらりと変わりました。この時期には時間がゆっくり流れ、時には気ままに出かけたり、片付けをしたりなどと考えていましたが、雑務に追われることが多く、妻から報告でしか聞かなかつた母の介護も家に居てみれば、年々一人になっておけないような状況になっていきます。又、

楽しもうと思っていた農業も勤めながら計画を立てていた頃に比べ、かえって余裕がないように感じられ、生活の変化を受け入れるのに精一杯の日々が続いています。

近年もともと好きだったソバが高じてソバ打ちにこつていますが、仕事をやめたら、ソバの食べ歩きも楽しみの一つにしてみました。丁度いい季節を迎え、花見もかねて二度ほど出かけましたが車を走らせながら沿道の景色が気になります。道沿の雑草が刈られ、花が植えられたりして、きれいに整備されているのをあちこちで見かけます。

この原稿を依頼されたとき、まだ退職したばかりで生活設計も考えられない時期でしたが、丁度本年江府町で全町あげて取り組む環境美化事業が計画されています。今よく団塊の世代と言われますが、だんだん一緒に出来る人が増えており、その辺りから取り組んでいけたらと考えています。外に出ると一年目に「頑張る過ぎんなよ」とか「無理すると体をこわすよ」など会う人ごとに声をかけてもらっています。自分自身しっかりと体調管理をしながら、ゆっくりとあせらず過ごしていきたいと思っています。

こんにちは。今年から江府町役場農林産業課産業振興室でお世話になる川上瞳です。私が江府町役場で働きたいと思ったのはより良い江府町をつくりたいと思ったからです。私は江府町の自然も好きですが、一番好きなのは住民の人柄が温かいところが好きです。私は幼い時から家族だけでなく地域の方々に育ててもらったような気がしています。「こんばんは」と挨拶すれば「おかえり」と返してください。本当に素敵な方々ばかりです。そんな素敵な住民の方々のためにより住みやすい町をつくりたいと思っています。

責任ある仕事を



美用 川上 瞳

私は江府町役場を志望しました。

私はこれから責任感を持つて仕事をしたいと思っています。私は公務員に大切なものの一つに責任感があると考えています。なぜなら一般企業と公務員では仕事を失敗したときに迷惑がかかる相手が違うからです。一般企業が仕事に失敗すると自分の会社に迷惑がかかるのですが、私達公務員が仕事を失敗すると迷惑がかかるのは住民の皆様だからです。ですから責任感を持って仕事をしたいです。他にも、学びつづける気持ちを持つことや、使命感を持って仕事をしたいです。

町役場というののもっとも住民に近い行政機関です。だからこそ、意見や要望をいち早く聞くことができます。住民の方々にとってなにか一番なことを考えることが求められています。年齢が十八歳ということ職場では一番年下ですが、今なにをすることが求められているかを考え、みなさんに劣らないように仕事をしたいと思っています。まだまだ頼りない職員ですが江府町がとて好きなので頑張りたいです。よろしくお願いたします。

あとがき

▼百花繚乱、花々に迎えられるそれぞれの入学式も終わりました。

▼いよいよ新年度がスタートしました。

▼地方行政においても、分権型社会の到来を受けて、自己決定、自己責任による自治体運営が求められるなど未だかつて経験した事のない新しい環境に直面していると日々を過ごしてまいりました。

▼弥生、三月も終わる頃、同僚議員のあまりにも突然の訃報に言葉を失いました。人はまさかの坂を一体幾つ越せば良い事か。人生の先輩としても教えられる事がたくさんありました。

心からご冥福をお祈りするとともにご遺志を体し、明るいまちづくりを全力を傾注すべき事を誓って。

合掌
越峠

議会広報調査特別委員会

委員長 日野尾 優
副委員長 川上 富夫

委員 森田 智
委員 越峠恵美子